

たまには山に恩返し

～高山帯の自然環境保全活動～

活動地域  北海道・大雪山



黒岳にて、植物帯を埋めた土砂を取り除く

つづける助成

3年目

実践

登山道補修イベント
延べ参加者数 **177人**

整備資材荷上げ量 **4.7t**

今年度計画の達成度 **100%**

全体計画の達成度 **50%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

侵食が加速している中で今期また新たな侵食が多く発生しているが、短いシーズンの中で作業できる日数が限られており、最大限の作業を行うための日程調整に苦勞した。

■工夫した点

イベントは主に土日開催だが、今期は平日のイベントも開催。また、緊急性の高い侵食箇所では、リーダー育成としての施工指導を兼ねた作業を日常的に行なった。

課題

総延長約300kmに及ぶ大雪山国立公園の登山道では、侵食のスピードに管理が追いつかず、各所で荒廃が進んでおり、登山道周辺の生態系に多大な影響を及ぼしている。

目標

生態系の復元を根底に置き、一般登山者や管理者である行政、民間企業や研究者等が協働で登山道を維持管理していく仕組みづくりを目指している。

活動内容と成果

- 登山道整備イベントを、裾合平、黒岳、トムラウシ、白雲岳周辺にて実施。計7日間、延べ177人の参加者とともに作業を行った
- 「高原温泉沼めぐり登山コース」にてボランティアによる登山道整備資材(木材)荷上げを実施。延べ74人が参加し、約1tの荷上げを行うことができた
- 冬期には愛山溪におけるスノーモービルでの資材運搬を実施し、人力やヘリに代わる資材運搬方法を確立。モービル2台体制で、8日間で約3.7tの木材荷上げを行うことができた



スノーモービルによる登山道整備資材の運搬

全助成期間の活動を振り返って

3年間を通して、登山道整備イベントによる一般登山者の参画、行政との協働による状況把握や管理計画、スノーモービルによる新しい資材運搬方法の確立、登山道侵食における研究者との共同等、大雪山の生態系復元を目指した管理に繋がる様々な活動を行うことができた。全国各地で同様な課題を抱えている地域との繋がりも増加し、今後の保全の仕組み作りに向けて大きく意味のある3年間となった。



トムラウシ山にて、土壌を守るため木道を設置

〒078-1333
北海道上川郡麻町伊香牛1区
電話：090-7058-8357
E-mail：yamamoritai@gmail.com
HP：https://www.yamamoritai.com/



今後の展望

大雪山の高山帯は寒冷な風衝地であるため植生の復元には長い時間がかかるが、これ以上の登山道侵食を止めるための保全活動を様々な形で発展させて行っていく。また、民官学が協働となった維持管理の新たな仕組み作りに向けて、行政や市町村との連携、ボランティア受入れ体制の構築、研究者・企業との協働を強化するとともに、全国各地とのネットワークを作り課題解決に向けて活動を行っていく。

